

意見公募手続（パブリックコメント）に対する意見等の概要及び検討結果

- 1 案 件 名：第2次いのち支える鹿屋市自殺対策計画（素案）
- 2 意見の募集期間：令和6年1月10日～2月8日（30日間）
- 3 意見提出者： 1人
- 4 意見数： 1件

〈検討結果区分〉

A：策定案に反映できるもの	件
B：既に盛り込み済みのもの	件
C：今後の参考となるもの	件
D：反映できないもの	件
E：その他感想や質問など	1件
計	1件

番号	意見等の概要	検討結果の区分	意見等に対する検討結果
1	<p>みなさんは自殺というどんなイメージがあるだろうか？私自身それが自分自身が死にたいと考えていることだろうか？そればかり考えてきた。土地の境界線がらみの嫌がらせとっていなかったようである。それが原因の割には睨みつけるから変だ？とっていた。それがつい最近知ったのだが、親せきたちが争っていた件で自殺者が出ていたという。しかも負けていたので、ということだ。何人かは知らないが、ようやく分かりかけた気がする。自殺は周囲の人を復讐にかりたてることが分かった。私はこっちに来てそうそうものすごく怒りに満ちた目で殺気を出し、前 3人 後 2人位に囲まれた。「出身は？」と聞かれ、「東京」というと囲みをひらいた。また町内会の飲み会に出席した時に昨年（といっても10年以上前の話）いや、その前の年に話して名前まで聞いて英語と少林寺けんぼうが出来ると聞いて、「ちょっとこちらへ来てくれ・・・。」といて廃屋の所に来ると突然「てや～！」といい出し、左腕をつかみへし折ろうとした。さすがに酔っばっていたのだが、一気に目がさめて、へし折られることを覚悟したが、（殺ろされる危険があったが・・・）長い話しの末彼は解放した。また建設業者も危ない、なんのお金かわからないお金5万円を渡し、私が指を差すと境界をかってに決めてしまいマンションが建ってしまう。また近所の人は境界線をひっこませることを指示するなど、財産は消滅してしまった。母親はアルツハイマーの薬を飲んでおり、何を考えているのかさっぱりわからないが、警察に相談しない。正直疲れしました。先程警察から連絡があり聞かれました。正直、相談したいことは山程あるけど、警察に相談するということが無いと思う。市役所にも話しているが効果があるとは思えない。どこが担当しているかわからない。自殺課なんていたらここだと有名になってしまうから多分つくらないと思う。自殺を決めるのは自分自身の問題だが結局、生きたい方が先か？恥の方が先か？解けない方が先か？よくありませんか？小さくやっ払いこう！なんて言葉が、けれど案外弱いものです。外からみえる大問題をかかえているのに解けないと思いません</p>	E	<p>ご意見として承り、今後の市政運営の参考とさせていただきます。</p>

か？それはその環境から離れる。それができないんだよ。本人が解けるなら解きたいけど解けないんだよ。自分の意志って何んなの？自問自答しても答えが出ないのである。学校でそう教わってきたから、答えはいつものただ日常をくり返すことのみ、これが正解になってしまう。引っ越しが決断になっても孤独は一人のとき分かる。誰れもかけてこない電話機、誰れも会いに来ない絶望感と破滅感を倍増して寝る。一生解けないと呪文のようにくり返しながら、ただ生きていくそんな毎日と思う。解けないのではなく、おわってしまったこれかもしれない。終わったと思わない時は、復活、再生にかけるしかないのだ。希望は自分の人生まだ終わっていないと思う所から始まる。(意見については、原文のまま記載。)
